

## PRESS NEWS

## 本の出版をどうぞ!

藤井健志 東京学芸大学出版会事務局長

出版会の会員の皆様、お久しぶりでございます。

次号で詳しくご報告申し上げますが、昨 2008 年度の1年間は4冊の本を出版するという、我が出版会としては空前の快挙をなしとげました。売上も400万円を超えました。もちろんこれらは執筆、編集していただきました先生方の賜物であり、心から感謝申し上げたいと存じます。

昨年度出版した本は次のとおりです（編集の先生方の敬称は略させていただきます）。

- 上野和彦・政策科学研究所編『伝統産業産地の行方-伝統的工芸品の現在と未来-』（2008年4月15日発行）
- 東京学芸大学社会科教育学研究室編『中高社会科へのアプローチ-社会科教師の専門性育成-』（2008年6月16日発行）
- 東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター編『東アジアの教師はどう育つか-韓国・中国・台湾と日本の教育実習と教員研修-』（2008年9月5日発行）
- 坂井俊樹・小瑤史朗・重松克也・竹内裕一編『社会科教育の再構築をめざして-新しい市民教育の実践と学力-』（2009年3月31日発行）

すでに繰り返しご指摘を受けているとおり、出

## 理事会・総会のお知らせ

5月28日(木)に本出版会の理事会・総会を開催します。  
詳細に関しましては、本プレスニュース4頁をご覧ください。

版会の会員であることのメリットは何なのだ、という問題があります。私たちはこれに対して、「**本を出版できることです**」とお答えしたいと思えます。実は毎年何件か、学芸大とは何の関係もない外部の人から出版の打診があります。本出版会ではご存知の通り、会員でない方の出版をお断りしていますが、本の出版が難しくなっている状況を感じます。こうした状況の中で、本を出版できるということは重要な意義を持っていると考えてよいのではないのでしょうか。

けれども私どもも商売で成り立っている任意団体です。本が売れて出版経費が回収できなければ潰れるしかありません。さらに出版経費だけではなく、日常的な諸経費も必要となってきます。出版会に携わっている教員たちが完全ボランティアでやっているにもかかわらず、です。そのため会員の先生方の本を出すにも、どのようにしたら赤字を出さずにでき

るのか、いろいろな方法を模索しているところです。

今回は**出版のための二つの仕組み**をお伝えたいと思います。いずれも著者の先生には（原則として）金銭的なご負担をおかけしない仕組みです。こうした仕組みをお使いいただいて本を出していただければと心から願っております。

## 1. リベラルアーツ21

本出版会では、一般向けのブックレットとして「リベラルアーツ21」というシリーズを出したいと考えています。実際に今まで制作いたしましたのは、**小林正幸先生の『不登校はなぜ起きるのかー問題解決と予防の手がかりー』**（2005年刊）のみです。この他にも数点の計画あったのですが、いろいろな事情でうまく刊行できませんでした。

とは言え、私たちはこのシリーズを是非とも成功させたいと考えています。**取次業者の評判もなかなか良い**のです。このシリーズは**出版会が出版経費をすべて負担**する形で出版をいたします。ただしご執筆の先生にはいくつかのことを確認していただいております。たとえば次のようなことです。

- ・「リベラルアーツ21」は**一般の人に向けた一般啓蒙書**であって、学術専門書ではありません。「新書」よりさらにもう一段階わかりやすい内容とすることを目指しております。
- ・読者層としましては、①小中学校の先生や子供を持つ親、②高校生・大学生、③その他各本のテーマに関心を持つ一般の人を想定しております。したがって**専門的知識がなくても読める、わかりやすい本**にしたいと考えております。
- ・内容は**狭い意味での教育問題に限定いたしません**。ただしそれを読むことによって人間の生き方、文化、自然、科学などに読者の関心を誘い、

広い意味で教育に資することを目指しております。

- ・一般の人が買いやすいようになるべく安い値段にしたいと考えております（定価を1000円以下にすることを目指しております）。そのため原稿量は400字詰め原稿用紙に換算して**100枚～130枚程度**にしたいと考えております。
- ・シリーズの性格上、執筆の先生のご原稿が完成した後に出版会編集委員会よりご意見を申し上げることがございます。

なおこのシリーズの本は生協、アマゾンのほか、首都圏および関西圏の書店での販売も考えています。残念ながら初刷に関しては、印税をお支払いできないのですが、第2刷以降は売上に応じてお支払いをいたします。ご理解いただければと思います。これが「リベラルアーツ21」です。いかがでしょうか？

## 2. 教科書の出版

先生方に、ご自分の**授業で使用していただく教科書**をお作りいただきたいと思います。少し安価に作ることを目指していますが、安価であっても安っぽくならないので、組版からシステム化することを目指しています。ただ**この仕組みは新しく考えているもので、今年と来年の2年間、試行をしてみよう**ということになっております。以下で試行案の一部をご覧いただきますが、細部においては変更可能です（たとえばお二人で共同で作るとか、1,000部刷るとか、定価を2,000円にするとか）。というわけで、ある程度柔軟に見ていただきたいと思います。

- ・この試行案に基づいて制作した教科書の場合、**制作費用は原則として出版会が負担**します。た

だし以下に記すいくつかの条件をご承認いただく必要があります。

- ・制作部数は原則として**500部**とします。
- ・原稿料は400字詰め原稿用紙に換算して、**150～200枚**とします。
- ・制作した本には本出版会がISBNを付与し、原則として生協とアマゾンにおいて販売いたします。
- ・教科書として学生に使わせるために、定価は1500円前後を予定しています。
- ・経費を節減するために教科書の**基本的なフォーマットは共通**のものとし、1ページあたりの字数、行数、余白、字体、フォント等を共通化させていただきます。用紙も共通にいたします。またカバーは二色刷とし、デザインも構成を共通のものとしてさせていただきます。本文は原則としてモノクロ印刷いたします。

このような教科書シリーズをスタートさせたいと考えています。ご希望の先生はいらっしゃらないでしょうか?このシリーズを試してみませんか?

すでに会員の方の中には、懇意にされている出版社をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。むしろ私たちは、こうした経費のかからない二つの出版の仕組みを若い先生方にお薦めしたいと考えています。私たち出版会を踏み台にして、新たに社会や学界にアピールしていただけたら、こんな幸せなことはありません。もちろん教授の先生方にも重厚な本を書いていただきたいと思っています。

何かと沈滞しているこのごろの大学ですが、出版会を利用して新しい一歩を進めていただきたいと願っています。本の出版、いかがですか?

(詳細は事務局にお問い合わせ下さい)

## ★ 新刊の紹介 ★

### 『社会科教育の再構築をめざして —新しい市民教育の実践と学力—』

坂井俊樹・小瑠史朗・重松克也・竹内裕一編

2009年3月31日発行

本体価格2,800円

ISBN:978-4-901665-14-8



本書は東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の教員と院生が協力して作った社会科教育に関する本です。全体は三部に分かれており、序章および第一章の7本の論文では、今日のグローバル化された社会での新しい社会科教育のあり方について模索しています。第二章の5本の論文では大学の教員が、先端的な研究から見た教育のあり方を提言しています。そしてそれを受けるのが第三章の6本の論文です。そこでは小中学校等の現場から、実際にどのような授業を構成できるかを、具体的に例示しています。教育理論・社会理論と教育実践をかみあわせた優れた本です。

## ● 理事会・総会のお知らせ

下記のように理事会・総会を開催します。出欠に関しましては、同封の葉書等にお書きいただき、学内の方は学内便にて、学外の方は葉書で5月21日（木）までにご返送下さい。また、お問い合わせは出版会事務局をお願いいたします。

日時： **5月28日（木）**

**理事会は18時より／総会は理事会終了後（おおむね19時過ぎより）**

場所： **第二むさしのホール2階の出版会の部屋**（大学院係の下の階です）

※この部屋は男女共同参画推進本部と共同で使っています。コパンの奥のこれまでは食堂の一部として使っていた部屋です。遅い時間で内部の階段が使えない場合は、外部階段よりお入り下さい。残念ながらエレベーターは使用できません（なぜか2階に停まらないため・・・）。

議題： 2008年度活動報告と決算報告の審議、2009年度事業計画案と予算案の審議 等

なお、理事会・総会のご案内は、このプレスニュースによるご案内だけとさせていただきます。

---

### ●会費をお支払い下さい

昨年度は売上収入が400万円を超えました。ただし利益率は2割程度なので、利益は80万円くらいです。そのため会費収入の40万円は、出版会にとってまだまだ貴重な財源となっております。このことをご理解いただき、会費のお支払いをお願い申し上げます。同封の郵便振込用紙をお使いになるか、広報室の出版会担当者のところまでお持ち下さい。年会費は4,000円です。よろしく願い申し上げます。

※なお、誤解されている先生がいらっしゃるようですが、出版会の会員資格は学芸大学をお辞めになった後も継続いたします。会費をお支払いいただければ、在任の時とまったく同じに本の出版も可能です。

また、もし出版会からの退会をご希望される先生は（とても残念ですが）、事務局までご連絡下さい。

### ●新しい絵はがきを作りました

一昨年度作りました本学の絵はがきは1,000セットをほぼ完売いたしました。そのため本年3月に新しい絵はがきを作りました。前回と同じく井上録郎氏の写真をもとに、正木先生にトリミングしていただきました。諸般の事情から今回はセット価格500円と値上げしました。同封しますので、お受け取りいただき、ご使用下されば幸いです。

なお今回はばら売り用のものは作っていません。前回の絵葉書のばら売りは現在でも生協で行っておりますので、ばら売りをご希望の方は生協でお求め下さい。東京学芸大学出版会事務局（本部棟広報室内）電話：042-329-7797